

1 アベサンショウウオ

(サンショウウオ科)

兵庫県ランク:A

Hynobius abei

環境省ランク:CR

種の概要

日本の固有種で、石川、福井、京都、兵庫の1府3県に分布。成体の全長は雄で105mm、雌で95mm程度。肋条数はふつう12で、鋤骨歯列は比較的深いU字型。前・後肢をお互いに向かい体側に沿って伸ばすと、指と趾の先端間に1〜2肋皺分の隔たりがある。背面は暗褐色、腹面は淡褐色。卵囊の表面には明瞭な縦の条線がある。尾は著しく側扁し、特に雄では鰭状。



県内における生息状況及びその他特記事項

豊岡市と香美町の丘陵地内にある、ごく限られた範囲の湿地とその周辺の二次林林床に生息している。これまでに発見された生息地における、イノシシの侵入や人の踏みつけによる生息環境の悪化、個体数の減少が懸念されている。

写真提供:太田 英利

保護上の留意点

現在残されている生息地やその周辺での土地開発の制限、人による踏みつけやイノシシの侵入に伴う生息環境の悪化の防止、アメリカザリガニ、アライグマといった外来性捕食者の侵入の防止、駆除などの対策が強く望まれる。

県内分布

豊岡市、香美町

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	△
	環境	○
	捕獲	△
	遺伝	○
特殊性	特殊	
	孤立	○
学術性	極限	○
	限界	○
	希少	○

